

## ◆ 2021 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 見沼ファーム 2 1

24A-01

代表者：理事長 島田 由美子

URL : <http://www.minuma-farm21.com/>

### 1. 活動が必要とされた状況

当会の活動の基盤は、さいたまの環境資産であり、貴重な緑地空間を提供する見沼たんぼを荒廃から守ること及び見沼たんぼの理解者を拡げることです。主な活動は、県より受託した公有地体験水田活動及び個人より受託した援農田の米作りです。会発足から 22 年が経過し、米離れや農家継承者難等を背景に委託される水田も約 5 町歩に至りました。作業面では農機依存度が増大し、サイサン環境保全基金のお陰を持ちまして、多くの動力農機の導入により、稲作作業を円滑に遂行しております。今般は老朽化した小型トラクターを更新して、中型トラクターを導入しました。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

稲刈り後から田植までの準備期間は、乾燥たんぼの田起し、畔塗り及び田植直前の水を導入した代かき等のトラクター主体の作業を行います。今般導入した中古トラクターは、主として芝川流域 3 ヲ所（上山口、見山、片柳）の作業を分担して実施しました。

（運転作業担当者 各 1～2 名）

分担区域	県田 (反)	援農田 (反)	最終田起し	代かき	第 1 回田起し	第 2~3 回田起し
片柳	2.2	4.2	R3 年 4 月	R3 年 5 月	R3 年 11 月	R4 年 2, 3 月
見山	1.5	2.8	R3 年 4, 5 月	R3 年 5 月	R3 年 10, 12 月	R4 年 2, 3 月
上山口	3.4	8.7	R3 年 4 月	R3 年 5 月	R3 年 12 月	R4 年 2, 3 月

### 3. 活動の成果

今般導入したトラクター（クボタ GT-19, 19 馬力）は、従来機よりも耕運幅も広く、変速もスムーズで作業効率が向上しました。水を張った下での作業も可能であり、埋没防止のため補助的に籠車輪を装着して代かき作業も無難に遂行しました。畔塗りも可能な従来の大型機（27 馬力）と相俟って、受託水田の全ての耕運作業を当会にて行うことが可能となり、外部農家への依存度合いが減りました。



### 4. 今後に残された課題

これまでの助成のお陰で田植機から稲刈り・脱穀及び草刈、肥料散布等の動力農機が一通り揃いました。今日では劣化した設備の更新を図る時節に至っております。活動の継続に向けて設備面では、一層の保守点検を継続しながら、農機習熟者の育成・拡充を図ってまいります。

